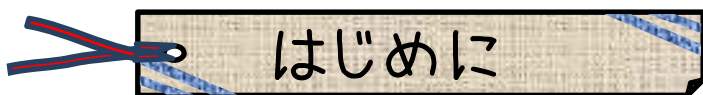


豊川市子ども読書活動推進計画
【豊川市子ども読書活動推進実施計画】
平成 28 年度～32 年度
(2016) (2020)



平成28年3月策定
豊川市教育委員会
中央図書館



本市の子ども読書活動の推進は、平成28年3月に策定の「豊川市子ども読書活動推進大綱」（以下「大綱」という。）に基づき、「豊川市子ども活動推進実施計画」（以下「実施計画」という。）を毎年度更新しながら行います。この実施計画では、大綱に掲げる3つの基本目標を達成するために、体系化された9つの施策を具体的に推進するための個別の取組を掲げています。

第一次計画では、個別の取組についてその内容や課題を掲げてはいましたが、それぞれについてどの程度の活動を目指すのか、具体的に数値化しておらず、進捗状況を客観的に把握することが困難でした。

そこで、今回の実施計画では、それぞれの取組を「いつ」、「どのぐらい」行うのか、可能な限り明示した上で、その開始からの3年間を「集中取組期間」と位置付け、その期間終了後にその取組を評価し、「継続」、「拡充」、「縮小」、「廃止」などの判断を行う仕組みとしています。

今回策定するのは、新しい大綱に基づく最初の実施計画であり、平成28年度から平成32年度までの5年間を期間（以下「今期」という。）としています。

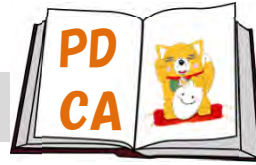


豊川市子ども読書活動推進計画

■■■ 子ども読書推進 実施計画 目 次 ■■■

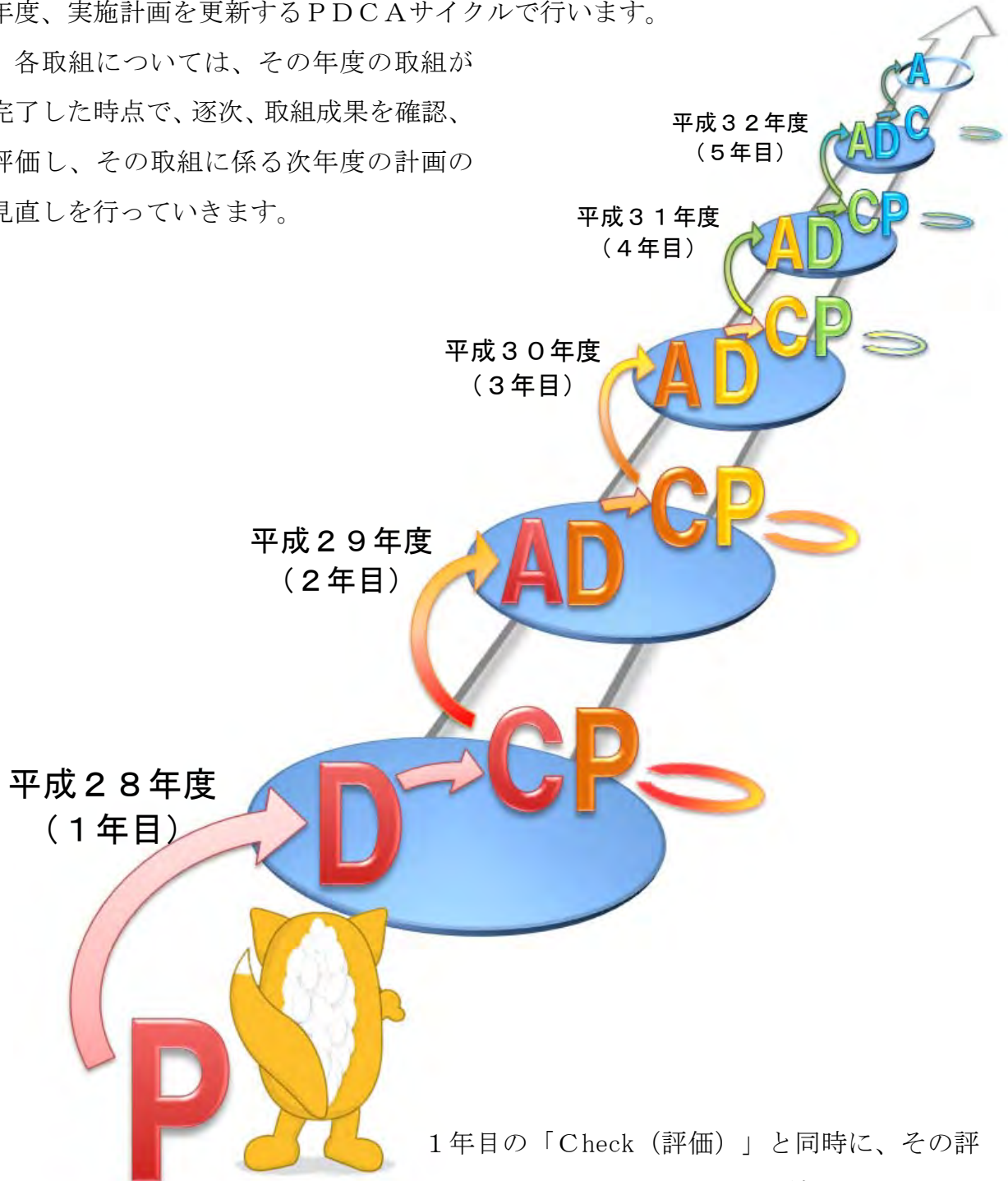
■ 1	進捗管理の仕方	・・・・・・・・・・	2
■ 2	各取組の評価方法	・・・・・・・・・・	3
■ 3	進捗状況報告書の作成	・・・・・・・・・・	3
■ 4	実施計画の見直し	・・・・・・・・・・	4
■ 5	次年度実施計画の公表	・・・・・・・・・・	4
■ 6	今期の重点取組	・・・・・・・・・・	4
■ 7	実施計画進捗管理表（平成28年度～32年度）	・・・・・・・・・・	5

■ 1 進捗管理の仕方



実施計画の進捗管理は、大綱に基づき、向こう5年度のローリング方式により、毎年度、実施計画を更新するPDCAサイクルで行います。

各取組については、その年度の取組が完了した時点で、逐次、取組成果を確認、評価し、その取組に係る次年度の計画の見直しを行っていきます。



1年目の「Check（評価）」と同時に、その評価に基づき2年目の「Plan（計画補正）」を行い、そして2年目については、補正された計画に基づく「Action（改善）」を行いながら計画を着実に「Do（実施）」していきます。

■ 2 各取組の評価方法



各取組は、子ども読書活動の推進を達成することが目的ですが、何をもってその目的が達成されたと判断すべきかは明確でないため、具体的に測定可能な「指標」を設定する必要があります。「指標」には、その取組によって得ようと期待する「効果」に関する指標と、その効果を得るための行動について掲げた「活動」指標があります。

本来は、「効果」の指標を毎年度測定し、取組の有効性を評価すべきですが、1つの取組の効果が現れるまでには、ある程度の長期に渡る取組が必要で、単一年度の取組だけで効果を測定することは困難です。

また、今回掲げた複数の取組は、それぞれ異なる効果を目指したものというわけではなく、ある1つの効果を上げるという共通した目的を持ったものがほとんどです。

そこで、「効果」の指標については、複数の取組について「共通指標」を設定した上で、5年に1度実施する「子ども読書活動に関するアンケート」などの結果から長期的な視点で判定することとし、各取組については、それぞれについて毎年度の「活動」の指標として定めた行動を、計画に定めたとおりに実施できているかどうかを、毎年度チェックし、計画どおりに進んでいないのであれば、その原因を分析した上で、次年度の計画を適切に修正していくこととします。



■ 3 進捗状況報告書の作成

前述のとおり、各取組については年度の終了を待つことなく、その取組の結果が明らかになった時点で逐次、取組結果を集計、分析します。集計した結果については、その都度「7 実施計画進捗管理表」の該当の「実績」欄に記入します。また、反省点や課題などの分析を行い、次年度に向けての改善案の検討をし、当該取組の「取組名」や「内容」、「備考」などの記述を修正し、計画の見直しをします。

こうして、計画を逐次、更新していき、当該年度に行う予定だった全ての取組が完了したら、その時点の「実施計画進捗管理表」と、当初のものを比較し、全体の進捗状況を総合的に評価した「進捗状況報告書」を作成します。

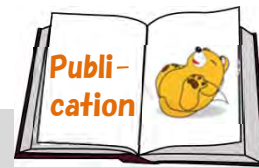
■ 4 実施計画の見直し



前ページで作成した「進捗状況報告書」に添付する見直し更新済みの「実施計画進捗管理表」により、各取組については基本的な見直しは完了しているはずです。しかし、より効率的・効果的に効果を上げるためには、すべての取組の結果を横断的に分析した上で、取組が不足していると思われる施策があれば新たな施策を追加し、また、期待する実施効果が得られていないと思われる取組があれば、場合によってはその取組を思い切って廃止し、別の取組に置き換えるなどの決断をする必要があります。

そこで、毎年度行う向こう5年度のローリングにおいて、「進捗状況報告書」を踏まえて、実施計画そのものを横断的に見直し、次年度の「豊川市子ども読書活動推進実施計画」としてまとめることとします。「進捗状況報告書」については、これに参考資料として付属させるものとします。

■ 5 次年度実施計画の公表



見直し、作成した次年度の「豊川市子ども読書活動推進実施計画」は、より多くの方に見ていただき、意見や要望を聞くことができるよう、市中央図書館のホームページに掲載するなどの方法により、毎年度、作成後速やかに公表します。

■ 6 今期の重点取組



今期は、大綱に定める「当初重点取組」に従い、次の4つの「効果」を得るための施策に重点的に取り組みます。

【重点取組1】「読書好き」な子どもの割合の向上

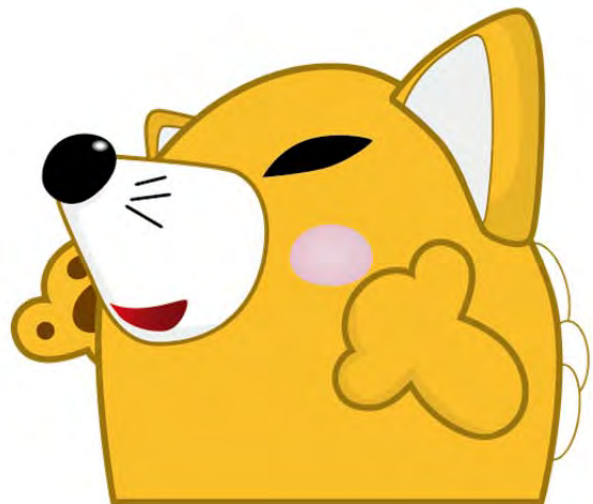
【重点取組2】「ほとんど本を読まない」子どもの割合の減少

【重点取組3】園児保護者による「読み聞かせ」頻度の向上

【重点取組4】市の図書館で借りられる児童書等の冊数の増加



豊川市子ども読書活動推進計画
実施計画 進捗管理表
(平成28年度～32年度)



【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

- 施策1 家庭における取組の推進
- 施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進
- 施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【基本目標2】普及啓発活動の推進

- 施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進
- 施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供
- 施策6 優れた取組の奨励、優良な図書普及

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

- 施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進
- 施策8 図書館間等の連携・協力の推進
- 施策9 子ども読書活動推進体制の整備

※大綱の「施策の体系」に基づき、
3つの基本目標と9つの施策に分類しています。

進捗管理表の見方

実施計画に掲載する期間は、計画の策定(見直しを含む)年度を基準として、その前年及び次年度以降の5年間の計7年度間とします。
取組のうち、新規に取組を開始するものについては、開始年度を含む当初の3年間で「集中取組期間」と位置付け、その期間が満了した翌年に、その取組の効果等を評価し、継続、拡充、縮小、廃止などの判断を行います。

「関係する課等」
黒丸「●」で始まる課名は、教育委員会所属
白丸「○」で始まる課名は、市長部局の所属

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

【目指す成果】

重点取組3

			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標	—	48.8	5%増			53.8	「うち読」、「ブックスタート」、「乳幼児健診時の普及・啓発」、「読み聞かせ教室事業」などにより実現します。
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標	—	12.2	5%増			17.2	

取組名	内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
1 学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用などの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
				集中取組期間					備考
				調整	開始	実施	実施	評価	学校ごとに読書週間の方法は異なり、全校で実施することは困難ですが、中央図書館と学校教育課で協力して推進していきます。
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標	—	10	15	20		
			実績						

各取組には、その取組の進捗具合を判断するための「指標」が定めてあり、「指標」には、計画的に実現すべき活動の量などを目安として定める「活動」指標と、その結果えらるはずの「効果」指標の2つに区別して表示しています。

各年度の行動計画には、「調整」や「検討」、「実施」、「拡充」、「見直し」、「再検討」など、大まかなその年の活動目標が示しており、その内容に応じたイメージのアイコンを表示しています。「いなりん」の表情の微妙な変化は、着実な進捗を願った気持ちです。

【基本目標1】 家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

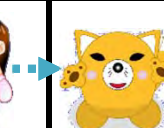
【目指す成果】				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	「うち読」、「ブックスタート」、「乳幼児健診時の普及・啓発」、「読み聞かせ教室事業」などにより実現します。
	共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標						53.8	
				実績	—	48.8					
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標							17.2	
				実績	—	12.2					
取組名		内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
1	学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行き、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
				集中取組期間							備 考
	指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標							
				実績	—	—	10	15	20		●中央図書館 ●学校教育課
2	「うち読」講演会の開催による普及・啓発	全国組織「家読推進プロジェクト」等から講師を派遣してもらい、「うち読」の効果的なやり方に関する講演会を開催し、「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
						検討	集中取組期間				備 考
	指標	活動	「うち読」講演会開催回数(回)	目標							
				実績	—	—		1	1	1	講師料等が必要な場合があるので、初年度に見積もりを取るなどし、必要な予算を確保などの調整も必要に応じて行います。
3	「うち読」ノートの改良、配布方法の見直し	取組開始から年数が経過し、当初ほど「うち読」ノートの配布や活用がされなくなっているのを改善するため、ノートのデザインの見直し等の改良を行うとともに、中央図書館での配布方法の見直しを行い、「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
						検討	集中取組期間				備 考
	指標	活動	「うち読」ノートのデザイン等見直し(回)	目標							
				実績	—	—		1		1	ホームページから自由に「うち読」ノートをダウンロードし印刷できるようにしたり、イベント等の会場など中央図書館以外での配布についても検討を行うこととします。
							300	310	330	350	
4	4か月児健康診査の待ち時間を利用した「ブックスタート」事業の実施(継続)	健康診査の順番待ちの時間を利用して、ボランティアによる絵本の読み聞かせや家庭での読み聞かせへのアドバイスを行うとともに、「ブックスタートパック」(2冊の絵本から1冊を選択)を配布し、読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 ○保健センター
				実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	備 考
	指標	活動	実施回数(回)	目標		36	36	36	36	36	
				実績	36	—					回数や配布人数は、4か月児健康診査の受診状況によるため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載します。
							1,650	1,650	1,650	1,650	
5	乳幼児の保護者向け講座「絵本で子育て楽しんでみませんか」の開催(継続)	ブックスタートの次のステップとして、4か月から12か月までの乳幼児とその保護者を対象とした、絵本を使って子どもとのコミュニケーションを図るための講座を開催し、家庭での読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
				実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	備 考
	指標	活動	実施回数(セット) ※1セットあたり3回構成の講座	目標		2	2	2	2	2	
				実績	2	—					第一次計画以前から実施している継続事業ですが、H23に年2回に開催回数を増やし、またH25には1回あたりの定員を増やしました。今後も、同様に必要に応じた見直しをしています。
							50	50	50	50	

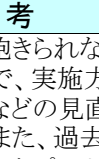
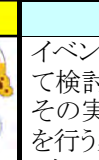
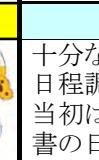
■施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進

【目指す成果】				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	学校を離れた読書は義務ではないので、「読書好き」であるかどうかの判断の指標となります。	
重点取組4	共通指標	効果	ティーンズ図書の年間貸出冊数(冊)	目標	5%増					12,426		
				実績								
重点取組1	共通指標	効果	読書好きな子どもの割合【図表1】児童生徒の「好き」以上「(%)」	目標	5%増					62.7		
				実績								
取組名		内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等	
6	指標	活動	絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置	1歳6か月児と3歳児を対象に行われる乳幼児健康診査の待合室などに、中央図書館からの団体貸出扱いなどを利用して絵本コーナーを設置し、子どもと保護者が絵本にふれる機会を提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○保健センター ●中央図書館 備考 第一次計画に掲載された取組ですが、未だに実行されていないため、実現に向けて保健センターと調整が必要です。
					未実施		調整	開始	拡充	拡充	評価	
						35	40	45	50			
7	指標	活動	2歳児歯科健康診査の会場で、受診までの待ち時間を利用して、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」や「手遊び」などを行い、読書活動の普及・啓発を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 ○保健センター 備考 回数や参加人数は、歯科健康診査の受診状況に合わせるため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載します。	
					実施中	継続	継続	継続	継続	継続		継続
					36	—	36	36	36	36		36
8	指標	活動	公民館や児童館で「読み聞かせ教室」を開催	子どもたちが身近に本を楽しめるよう、地域の読み聞かせボランティアが、乳幼児から小学生までとその保護者を対象に、公民館や児童館などで、「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などを行う「読み聞かせ教室」を開催	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 備考 第一次計画において「読み聞かせ教室事業」として掲載されていた取組について、具体的な内容が分かる名称に改めました。
					実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
					56	—	56	56	56	56	56	
9	指標	活動	ティーンズコーナーの充実	中学生、高校生の声を反映し、まんがやライトノベルなどを含むティーンズ向け図書の冊数や種類を増やすとともに、レイアウトやPOPなどの工夫を凝らし、ティーンズ図書の貸出冊数を増加させる。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 このコーナーは、新しい本が直ぐに貸し出され、一見すると古い本ばかりに見えるため、購入冊数等を検討する必要があります。
					実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
					5,803	—	6,000	6,200	6,400	6,600	6,800	
10	指標	活動	ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催	ティーンズコーナーのPRと、中学生、高校生への読書啓発のために、まんがやライトノベルを含む良質なティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会を開催し、中学生や高校生の来館者を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 どのような作家を呼ぶべきかを十分に検討するとともに、必要な予算を措置し、当面は、年1回程度のペースでの開催に向けた検討・調整を行います。
					検討	検討	調整	開始	実施	実施		
					—	—		1	1	1		
11	指標	活動	小学生から高校生までの総合学習や調べ学習に必要な資料の収集と提供	近年、高校生だけでなく、小学生や中学生が学習を目的として図書館の閲覧室を利用するケースが増えつつあることを踏まえ、学校と連携して、総合学習や調べ学習に必要な資料を備え、積極的に図書館を利用してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 第一次計画の取組「児童・生徒サービスの実施」の内容を具体化した取組です。
					実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
					14	16	50	50	50	50	50	
12	指標	活動	児童向け点字図書や音声図書の充実	障害のある子どもたちに利用しやすい点字図書や音声図書、マルチメディア図書などを積極的に収集するとともに、それらの図書を利用しやすくするために必要な合理的配慮を行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 第一次計画の取組「障害のある子どもへの読書環境の整備」の内容を具体化し、取組名を改めました。
					実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
					3	—	5	5	5	5	5	
	指標	活動	児童向け点字図書数(冊)	目標			5	5	5	5	5	
				実績								
			児童向け音声図書数(冊)	目標			22	24	26	28	30	
	指標	活動		実績								
					0	—						

取組名	内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
13 外国語図書の収集と排架	市内在住の外国語を日常語とする児童生徒や帰国児童・生徒のため、外国語の絵本や児童書の充実を図る。	前年  実施中	★ 継続	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目  継続	●中央図書館 備考 その他、英文多読コーナーの活用などについても検討し、充実を図ります。
	指標								
	活動 外国語図書の受け入れ冊数(冊)	目標 58	実績 —	60	60	60	60	60	
	活動 外国語図書の排架冊数(冊)	目標 5,200	実績 —	5,260	5,320	5,380	5,440	5,500	
14 子どもの読書活動に関する講演会の実施	子どもの読書に関する保護者や図書館職員、学校関係者の理解を深め、子どもの読書活動の推進を図るとともに、子どもに対しては本を読む楽しさや意義を伝え、豊かな心を育んでもらう。	前年  検討	★ 検討	1年目 調整	2年目 調整	3年目  開始	4年目  実施	5年目  実施	●中央図書館 備考 前述の「うち読」講演会の開催を優先するため、開始年度は3年目を目途に検討、調整を行います。
	指標								
	活動 実施回数(回)	目標 —	実績 —	—	—	1	1	1	
15 読み聞かせボランティア等養成講座の開催	読み聞かせボランティアの養成講座を開くとともに、その読み聞かせ技術を向上していただくためのスキルアップ講習会を開催し、読み聞かせボランティアの人材の充実を図る。	前年  実施中	★ 継続	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目  継続	●中央図書館 備考 スキルアップ講座は既存の読み聞かせボランティアのみが受講可能で、新規を対象の養成講座とスキルアップ講座は、1年置きに年1回ずつ交互に開催しています。
	指標								
	活動 実施回数(回)	目標 1	実績 —	1	1	1	1	1	
	活動 参加人数(人)	目標 46	実績 —	46	46	46	46	46	
16 子ども向け手作り絵本講座の開催	子どもが自ら絵本を手作りすることで、より絵本への関心や愛着を深めてもらうことを目的として、「手作り絵本講座」を開催する。	前年  実施中	★ 継続	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目  継続	●中央図書館 備考 4月、12月に開催。
	指標								
	活動 実施回数(回)	目標 2	実績 —	2	2	2	2	2	
	活動 参加人数(人)	目標 53	実績 —	55	55	55	55	55	
17 先進自治体図書館の視察や子ども読書に関する研修への参加による児童図書担当職員の育成	過去に子ども読書活動について文部科学大臣の表彰を受けた図書館や特色ある子ども読書活動を行う先進自治体図書館を視察したり、愛知県図書館などが主催する子ども読書に関する研修会へ積極的に参加し、児童書担当職員のスキルアップを図る。	前年  実施中	★ 継続	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目  継続	●中央図書館 備考 視察と研修のいずれも出張を伴うため、確実に継続するためには予算を確保する措置が必要です。
	指標								
	活動 先進自治体図書館の視察(回)	目標 0	実績 1	1	1	1	1	1	
	活動 子ども読書に関する研修会参加回数(回)	目標 0	実績 2	2	2	2	2	2	
18 「学校の日」の代休の休校日の月曜日に市の図書館を児童・生徒向けに解放	「学校の日」は土曜日に行われるため、翌週月曜日が代わりに休みとなり、子どもたちが長時間図書館を利用できる絶好の機会であることから、図書館を児童・生徒向けに解放する。(全市共通の「学校の日」は、5月と1月の各第3土曜日)	前年  検討	★ 検討	1年目 検討	2年目 検討	3年目 検討	4年目 調整	5年目  実施	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H27から開館日を増やしたばかりで、さらなる開館日の増加は直ぐには困難なため長期的な視野で検討します。
	指標								
	活動 実施回数(回)	目標 —	実績 —	—	—	—	—	1	
19 「ブックトーク」の実施	子どもたちに本や読書の楽しさを知ってもらうために、あるテーマにそって何冊かのさまざまなジャンルの本を順序だてて紹介する「ブックトーク」を開催する。(希望を募り、子どもたち自身による「ブックトーク」を開催することも検討する。)	前年  検討	★ 検討	1年目 検討	2年目 検討	3年目 検討	4年目 調整	5年目  実施	●中央図書館 ●学校教育課 備考 「ブックトーク」を行うためには、十分な知識や経験、事前準備が必要になるため、十分に時間をかけて検討します。
	指標								
	活動 実施回数(回)	目標 —	実績 —	—	—	—	—	1	
20 図書館ボランティアによる「おはなし会」の実施	絵本で子育てを楽しんでもらえるよう、図書館ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などの各種講座を行う「おはなし会」を開催する。	前年  実施中	★ 継続	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目  継続	●中央図書館 備考 第一次計画以前から実施している継続事業ですが、非常に好評で、取組団体、参加人数ともに非常に多く盛況なイベントですので、今計画の実施計画にも掲載します。
	指標								
	活動 合計実施回数(回)	目標 141	実績 —	150	150	150	150	150	
	活動 合計参加人数(人)	目標 4,612	実績 —	5,000	5,200	5,400	5,500	5,500	

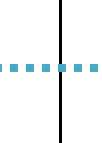
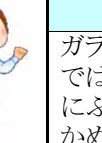
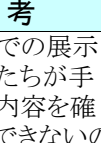
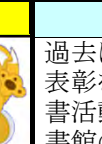
■施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【目指す成果】			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※「不読率」とは、アンケートで「ほとんど本を読まない」と回答した児童・生徒又は保護者から見たあまり本を読んでいない園児の割合をいいます。 学校で本を読む機会を設けることで、不読率を減らします。
重点取組2	共通指標	効果 不読率の減少【図表2】 小学4～6年(%)	目標						4.7	
		実績	—	14.7	10%減					
		効果 不読率の減少【図表2】 中学生(%)	目標						17.4	
		実績	—	22.4	5%減					
		効果 不読率の減少【図表2】 高校生(%)	目標						43.3	
		実績	—	46.3	3%減					
		効果 不読率の減少【図表25】 保護者から見た園児(%)	目標						24.4	
		実績	—	29.4	5%減					
		効果 不読率の減少【図表25】 保護者から見た小学4～6年(%)	目標						40.3	
		実績	—	50.3	10%減					
取組名	内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
21	マイブックプロジェクトの実施	中学2年生に、中央図書館が提供する一定金額分の図書購入券を配布し、子ども自らが書店で本を選び、購入し、読み終えたら読んだ本の紹介メッセージを付けて学級文庫に入れ、級友や他のクラスの生徒とも読み合うことで、子どもが積極的に本と触れ合えるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
										備考 当初は実施後3年で廃止を含めた見直しを行うものとされていたが、継続を望む声が強いため、今後も継続していきます。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動 生徒参加率(%)	目標		96	96	97	97	98	
		実績	94.7	—						
22	朝読の推進	朝、授業が始まる前の時間を利用して、子どもたちが読みたい本を読める場を設けることで、子どもたちに読書をする習慣を身に付けてもらうことを目的として、朝読(朝の読書活動推進運動)を実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
										備考 基礎学力向上のために、朝の時間をドリル学習に利用する学校もあるため、どのように朝読を推進するかを検討が必要です。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動 朝読実施校数(校)	目標		36	36	36	36	36	
		実績	36	—						
23	保育園へ、子ども用の図書や紙芝居等を貸し出す「おやこ文庫」の実施	図書や紙芝居などが常に子どもの身近にある環境をつくるため、保育園等へ「おやこ文庫」を貸し出し、子どもたちの読書への関心を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課
										備考 併せて、私立保育園や幼稚園への参加を呼び掛けるPRや保護者への周知などの啓発活動についても検討します。
			実施中	継続	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	
	指標	活動 保育園等へのPR回数(回)	目標		2	2	2	2	2	
		実績	1	—						
	指標	活動 対象保育園数(園)	目標		25	25	27	27	30	
		実績	25	—						
24	学校図書館の利用を高めるための協議の場の設置	子ども読書に関するアンケートを実施した結果、子どもたちの声として「学校図書館の利用時間が十分でない」との意見が目立ったため、その声に対応するための協議の場を設け、延長の可否を検討する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
										備考 学校現場の事情もあるため、容易には延長等ができないと思われるため、関係機関で十分に協議を行います。
			調整		実施	実施	実施	実施	評価	
	指標	活動 協議会の開催回数(回)	目標			1	1	1		
		実績	—	—						
25	小中学校全校の「学校図書館図書標準」充足率100%以上を実現	小中学校の各学校図書館の適正な蔵書数の基準として、文部科学省の定めた「学校図書館図書標準」に沿って、その充足率が100%を超えるように整備を行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
										備考 充足率を高めるにあたっては、除籍対象となった古書の除籍を適正に行ったうえで、図書の充実を図る必要があります。
			調整		実施	実施	実施	実施	評価	
	指標	活動 充足率100%以上の学校の割合(%)	目標			80	90	100		
		実績	—	—						
	指標	活動 未廃棄の除籍対象図書数(冊)	目標			0	0	0		
		実績	—	—						
26	小・中・高の各学校の課外授業やカリキュラムの一つとして、市の図書館の見学会を実施	小学生から高校生までを対象に、図書や読書への関心を高めてもらうことを目的とした、図書館見学会を実施する。(中央図書館や各分館の徒歩圏内の学校の一部で既に実施中)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
										備考 第一次計画の取組「児童・生徒サービスの実施」の内容を具体化した取組です。今後は如何に実施校数を増加させるかの検討や調整が必要です。
			実施中	継続	継続	継続	調整	調整	拡充	
	指標	活動 実施校数(校)	目標		5	5	5	5	10	
		実績	5	—						
	指標	活動 参加人数(人)	目標		120	130	140	150	150	
		実績	101	—						

【基本目標2】普及啓発活動の推進											
■施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進											
【目指す成果】				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	普及啓発を目的とするため、貸出冊数ではなく、来館者数や利用者を効果指標に設定します。
共通指標	効果	市の図書館来館者数(人)	目標			578,000	583,500	589,000	594,500	600,000	
			実績	572,419	—						
	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標			92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	
実績	90,079		—								
取組名		内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
27	図書館検定の実施	子どもたちに図書館や読書への興味や関心を抱いてもらい、図書館への来館のきっかけとなるよう、図書館でのマナーや図書に関する知識を設問とした「図書館検定」を実施する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考		
	指標	活動	参加者数(人)	目標	実績	600	620	640	660	680	参加者に飽きられないよう、隔年で、実施方法や参加賞などの見直しをします。また、過去の問題にホームページ上で自由に挑戦できるようにします。
28	読書週間等の行事の充実を図るため「まんが、ライトノベル、アニメデー」を開催	4月23日の子ども読書の日を中心とした春の読書週間や10月27日の文字・活字文化の日を中心とした秋の読書週間に、子ども参加型のイベントとして、まんがやライトノベル、アニメに関するイベントを開催する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
										備考	
	指標	活動	開催回数(回)	目標	実績			1	1	1	イベントの内容について検討を行い、その後その実施に向けた調整を行う必要があるため、3年目以降の実施とします。
29	「図書館まつり」の開催	これまで読書週間などを中心として複数の日に分散して行っていた各種関連イベントを、「図書館まつり」として特定の日又は期間に集約して、様々なイベントを同時に楽しむことができるようにし、相乗効果で読書への関心を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
										備考	
	指標	活動	開催回数(回)	目標	実績			1	1	2	十分な会場の確保や日程調整が必要です。当初は、春の子ども読書の日を中心とした年1回の開催を目指し、軌道に乗った段階で、春と秋の2回開催等への拡張を検討します。
		内包する関連イベント数(種)		目標	実績			5	5	10	
				目標	実績						

■施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供												
【目指す成果】				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	アンケートの結果、認知度が低いことが判明したため。	
指標	効果	ボランティア講座認知度【図表36】「知らなかった」の割合(%)	目標							61.5		
			実績	—	71.5	10%減						
取組名		内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等	
30	市図書館のホームページに子ども読書活動の関連事業や実施計画の取組状況などを掲載する専用ページを設置	「読み聞かせボランティア講座」の開催情報や、この実施計画に掲載の各種取組とその進捗情報、おすすめ図書、各種ボランティアの活動状況など、子ども読書活動に関連する情報を集約し、保護者等へ提供する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
				集中取組期間								
	指標	活動	掲載コンテンツ数(件)	目標								現時点でも、講座やイベント情報は個別にHPに掲載しているが、集約して、目立ちやすいポータルサイトを構築します。
			実績	0	—			10	15	20	25	
31	子ども読書関連活動を行うボランティアの情報を収集し、生涯学習情報システム「学びネットあいち」へ情報提供	読み聞かせボランティアや図書館登録団体などの要望の有無をリサーチした上で、ボランティアや団体が主催する講座や催しなどの情報の周知について、「学びネットあいち」への情報提供(掲載依頼)を代行する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
				集中取組期間								
	指標	活動	情報提供件数(件)	目標								まず、いくつかの団体に希望の有無を確認し、その後すべての関係団体等に周知を行った上で実施します。
			実績	—	—				5	10	15	
32	市生涯学習情報サイト「まなびネットとよかわ」に中央図書館や分館で開催される読み聞かせ事業やボランティア養成講座、図書館登録団体の活動情報なども掲載してもらうように、生涯学習課と調整する。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●生涯学習課	
				集中取組期間								
	指標	活動	情報提供件数(件)	目標								システム改修等が必要になる場合もあるため、長期的な視野で調整を行います。
			実績	—	—						10	
33	外国人の保護者への市の図書館のPR	学校へ通っている子どもは日本語を話せる子がほとんどだが、その保護者は母国語しか話せないケースが多い。子どもと図書館へ来館する機会を増やすため、子ども連れの外国人利用者を増やすことを目的として外国語の本の所蔵をPRする。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○市民協働国際課	
				集中取組期間								
	指標	活動	外国人保護者へのPR回数(回)	目標								どの程度効果があるかを関係機関と協議し、対象者の意見なども踏まえて、実施や継続するかどうかを決定します。
			実績	0	—				1	1	1	

■施策6 優れた取組の奨励、優良な図書の普及

【目指す成果】			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	企画展示などで紹介した図書が、実際に子どもたちに借りられることを目指して指標を設定します。	
共通指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標		92,000	94,000	96,000	98,000	100,000		
			実績	90,079	—						
	効果	市の図書館児童図書貸出数(冊)	目標		398,000	398,500	399,000	399,500	400,000		
			実績	397,231	—						
取組名			内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
34	中央図書館エントランスでの児童図書等の特別企画展示の開催	子どもたちが読書に興味を持つきっかけづくりに、日本絵本賞をはじめとする、前年度の児童図書に関する各種受賞作品や、市民団体の手作り絵本、子どもたちの興味をひく仕掛け絵本などを展示する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
									備考 ガラスケースでの展示では、子どもたちが手にふれたり、内容を確認することができないので、展示方法の改善を検討します。		
			実施中	継続	検討	改善	継続	継続	継続		
指標	活動	企画展示開催回数(回)	目標		3	4	4	4	4		実績
				3	—						
35	長年活躍されている読み聞かせボランティアや子ども読書に関連した優れた活動団体の表彰等の奨励	子ども読書活動の推進に貢献しているボランティアや団体の活動を奨励するため、文部科学大臣表彰の対象として推薦したり、市図書館独自の表彰を行うなどし、さらなる子ども読書活動の推進を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
									備考 併せて、国の選考基準を満たすボランティアや団体などの育成に必要な取組についても検討、調整のうえ実施します。		
			実施中	検討	調整	周知	開始	実施	実施		
指標	活動	表彰又は推薦の対象数(件)	目標				1	1	1	実績	
				—							
36	児童・生徒に優良な本に関する情報を提供するため、各年齢層別の「おすすめの本紹介リーフレット」等を作成、配布	市の図書館司書や保護者、大学生などが児童・生徒にすすめる本や、高校生から小・中学生、児童・生徒同士が互いにすすめ合う本などをリーフレットや冊子にまとめ、市の図書館などで配布する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
									備考 過去に文部科学大臣表彰を受けた子ども読書活動推進の先進図書館の例を参考に、子どもたちに親しまれるリーフレットや冊子をつくります。		
			実施中	検討	調整	周知	開始	実施	実施		
指標	活動	おすすめ本リーフレット発行数(回)	目標				1	1	1	実績	
				—							

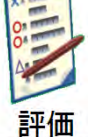
【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

■施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

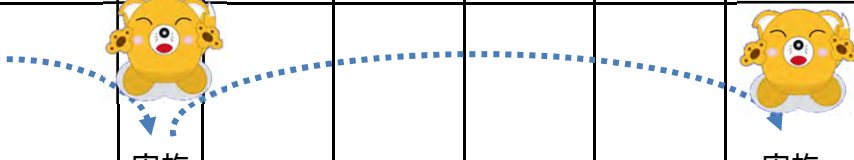
取組名	内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
37 児童館・児童クラブ・公民館・市民館等への団体貸出・読み聞かせの実施	子どもの身近な場所における読書環境を整備するため、学校以外の子どもが多く集まる施設に図書の貸出を行い、出来るだけ市内の多くの場所で読書ができるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課
									備考 第一次計画以前から継続している取組ですが、多くの利用があることから、今後も確実に継続するため実施計画に掲載します。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	読み聞かせ参加人数(人)	目標	実績	650	650	650	650	650
					632	—			
38 図書館等利用案内の作成・配布	子ども向けの図書館利用案内を作成し、新着本や推薦図書の紹介、イベントの開催などの情報を保育園や学校へ配布するとともに、市図書館ホームページに掲載する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考 現在は、毎月1回の発行のほか、夏休み直前に特別号を1回の計13回だが、今後、春休みや冬休みの発行も検討します。
		実施中	継続	検討	改善	見直し	改善	継続	
指標	活動	子ども向け図書館だより発行回数(回)	目標	実績	13	14	14	15	15
					13	13			
39 中学校・高校職場体験学習の実施	図書館司書の業務と、公共図書館運営への理解と関心をもってもらうために、中学生又は高校生を対象とした体験学習の受け入れを実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考 受け入れ体制や学校側の事情もあるため、参加人数の目標は過去の平均的な人数とし、第一次計画の取組をそのまま継続します。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	職場体験参加人数(人)	目標	実績	25	25	25	25	25
					29	—			
40 学校と市図書館双方の図書ボランティア及び読み聞かせボランティアの交流、連携	各学校と中央図書館等の図書ボランティアや読み聞かせボランティアの交流や連携を行い、ノウハウの共有や相互のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
						集中取組期間			備考 各ボランティアや団体との調整が両課で必要となるので、まず、どのように交流や連携を行うのかを両課で協議します。
			検討	検討	調整				
指標	活動	交流、連携方法の検討会議開催回数(回)	目標	実績	—	—	1	1	1
					—	—			
41 市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バスで招く図書館体験会を開催	現在、中央図書館や各分館の近くに位置する学校では、各学校の判断により徒歩による図書館見学会を行っているが、距離の離れた学校では実施が困難なため、市の図書館が貸切バスを用意して児童・生徒を招く図書館体験会を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
						集中取組期間			備考 現在、プラネタリウムについては希望する学校を募り、児童・生徒を貸切バスで招く事業を行っています。
		実施中	検討	調整	調整				
指標	活動	実施学校数(校)	目標	実績	—	—	5	5	5
					—	—			
42 特別支援学校等との連携	障害のある子どもを含む全ての子どもが、読書に親しみ、読書好きになるためのきっかけづくりとして、市内外の特別支援学校等と連携を図り、できるだけ多くの子どもたちに図書館サービスを体験してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考 市内外の特別支援学校からジオスペース館の見学の申し入れがありますが、その際に、図書館エリアも見学していただけるか確認し、調整をします。
				調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	連携実施校数(校)	目標	実績	—	—	1	1	1
					—	—			
指標	活動	参加児童・生徒数(人)	目標	実績	—	—	25	25	25
					—	—			
43 地域の文庫活動の活発化	子どもたちの周りに常に本がある環境をつくるため、市内の地域文庫活動を掘り起し、市図書館ホームページなどで周知を図り、地域文庫活動を活発にする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考 現在のところ、市内の地域文庫活動について、中央図書館として把握ができていないため、今後、情報収集等の調査、検討のうえ取組を行います。
			検討	検討	調査	調査	調整	実施	
指標	活動	地域文庫紹介件数(件)	目標	実績	—	—			1
					—	—			

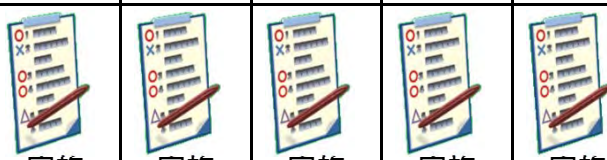
(基本目標3)

■施策8 図書館間等の連携・協力の推進

取組名		内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
44	学校図書館のネットワーク化に向けて、関係課の協議の場を設ける	学校図書館の図書について、ネットワーク化を図ることで、事項の学校図書館だけでなく、他校や市の図書館まで含めた地域全体の蔵書を対象とした検索や、図書の共同利用を可能とするための協議の場を設ける(市の図書館については、以前からインターネット上で誰でも検索可能。)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●庶務課 ●学校教育課 備考 第一次計画では「ネットワーク化」を取組としていましたが、まず、関係課協議から始めます。
						集中取組期間				
				検討	調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	ネットワーク化検討協議の開催回数(回)	目標				1	1	1	
			実績	—	—					
45	市の図書館司書と司書教諭、巡回司書、との連携、情報交換	学校巡回司書ミーティングや図書主任会などの場を利用して、中央図書館の司書と学校の司書教諭、巡回司書が、子どもの読書活動の推進に関する情報交換や新着本、推薦図書などの情報提供などを行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 第一次計画に「司書教諭・学校図書館司書との連携、情報交換」として掲載されたものを、実態に合わせて改めました。
										
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	情報交換等実施回数(回)	目標			2	2	2	2	2
			実績	2	2					
46	学校図書館における図書委員育成のための取組を協議する場の設置	学校図書館の活用方法を、子どもたちが自身が提案し、授業や調べ物に積極的に活用できるようにするため、その提案を中心に立つて行う図書委員の育成を図るために、関係する機関での協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 この協議により、具体的な図書委員の育成施策を決定し次第、この取組をその施策に置き換えます。
						集中取組期間				
					調整	実施	実施	実施	評価	
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標				1	1	1	
			実績	—	—					
47	学校司書、司書教諭、巡回司書の適正配置計画の策定のための協議の場の設置	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、利用の一層の促進に資するため、専任の学校司書を置くことを定めたH26改正の学校図書館法第6条に基づき、計画的に適正な配置を行うため、学校教育課と中央図書館との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 この協議により、具体的な学校司書等の適正配置計画を策定し次第、この取組をその計画内容に置き換えます。
						集中取組期間				
					調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	学校司書等の適正配置計画策定協議開催数(回)	目標			1	1	1		
			実績	—	—					
48	中央図書館から学校への団体貸出のセット内容を見直す協議の場の設置	第一次計画に基づき継続中の、中央図書館から各学校への団体貸出用の図書セットについて、教科書の更新等に伴う内容変更に対応するため、中央図書館司書と学校の主任会との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 第一次計画で「学校図書館の図書の充実」として掲載されていた取組について、具体的に内容を定め、新たな取組へと改めました。
						集中取組期間				
					調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	団体セット内容見直し協議の開催数(回)	目標			1	1	1		
			実績	—	—					
49	「読書週間」等について、中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に紹介し合う啓発活動を実施	現在は、それぞれ単独で実施している読書週間のイベントや取組について、互いに情報交換をすることで、読書啓発の効果をより高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 第一次計画で「読書啓発の実施」として掲載されていた取組について、具体的に内容を定め、新たな取組へと改めました。
						集中取組期間				
			実施中	検討	検討	調整	開始	実施	実施	
指標	活動	学校での中央図書館イベント紹介(回)	目標				1	1	1	1
			実績	—	—					
指標	活動	中央図書館での学校取組紹介数(校)	目標				1	2	4	4
			実績	—	—					

■施策9 子ども読書活動推進体制の整備

取組名		内容		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	関係する課等
50	子ども読書に関するアンケートの実施	実施計画の取組の効果等を測定するため、当面の間、5年に1回の頻度で、市内の小・中学校及び高校から数校ずつを選び「子ども読書活動に関するアンケート」を実施するとともに、保育園児や小学生の保護者についても同様のアンケートを行う。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
											備考
											アンケートの内容や頻度、対象者などについては、今後、進捗管理に合わせて見直しを行います。
指標	活動	アンケート実施回数(回)	目標実績	—	1					1	

51	実施計画の進捗管理	向こう5年度のローリング方式により、この実施計画に掲載の各取組について、毎年、前年度の進捗状況を評価するとともに、必要に応じて計画を見直し、各取組の実効性を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
											備考
											毎年度行う進捗管理については、市図書館のホームページなどに掲載し、常に市民のみなさんの声を反映できるように努めます。
資料	活動	進捗管理の実施回数(回)	目標実績	—	—	1	1	1	1	1	